

集落支援員だより

Vol.4

田植えも終わり、緑色にそよぐ水田が一番美しく、田んぼをわたる風も心地よい季節になってきました。農作業もひと段落、久しぶりのお便りです。お変わりありませんか。

推進協ニュース

猛威を振るうコロナの影響で、昨年度と同様に大勢集まる総代会が開催できず、書面による審議となりました。その結果、29名の総代のうち27名より返信があり、令和2年度の決算報告、令和3年度事業計画案及び予算案が、27名の賛成多数により承認され、事業がスタートしました。皆様の参加ご協力をお願いします。

今年度は、昨年モデル事業に指定された久利と大屋の「小さな拠点づくり」が2年目を迎え、具体的に動き出します。

まず、久利・大屋のまちづくり推進協議会（仮称）という会議体を作り①生活交通部会②環境整備部会③助け合いネットワーク部会からなる3部会を設置、各部会ごとに夫々代表者を選出し課題解決に



向け話合われ、事業が進められる予定です。大屋線のバス路線撤退や人口減少、高齢化が一段と進む中、両町が協力することで、今後も住み慣れた故郷で生活ができるのではと思います。

それともう一つ、「久利の農地を守る会」（木田敏憲会長）が結成され令和4年の法人化を目指して活動中です。後継者不足などで耕作放棄地は増加の一途をたどる中、まちづくりの基盤である農業を魅力ある産業として継続するために設立されました。スローガン「みんなで守り、支え、つくる組織化」を掲げ、農業に携わっていない方も含め多くの方の参加を募っています。GPSドローンなど農業機械のIT化に興味をお持ちの方は、てごし隊のメンバーを募集していますので ☎ 82-15572 担当森山まで連絡ください。

ちよつとお耳を くりの里情報

今回ご紹介いたしますのは、特産品づくりに取り組まれている皆さんです。会の名前は【くりの郷遊香夢】と言います。ふるさとの中に働く場ができ、その仕事にやりがい、生きがいを感じられ、それで収入を得られ

れば地域の活性化につながります。地元の産物を加工し販売を目指しておられ、メンバーは13名の女性です。



現在は柚子畑の再生と、そこで収穫した柚子を使った加工品の研究、商品化へ挑戦中です。またその合間に地元産の筍を使った加工品作りをしています。茹

で筍は大屋町が名産なので、違いを出すために遊香夢の皆さんは干しタケノコづくりに挑戦しています。まだできたばかりの会ですが、一步一步経験を重ねてがっばり儲ける事を夢見て是非頑張ってください。



編集後記

新しい取り組みに期待が膨らみます。皆様の意見をお寄せにまちセンにお茶しに来ませんか。より身近なまちセンになんでもご相談ください

発行元

久利まちづくり推進協議会事務局

☎ 82-15572 担当 森山